

レクリエーション事業	単位数	履修方法(授業形態)	配当学年
	1単位	実習	3年以上
科目コード	DL4282	担当教員	金 義信/山内 直子

※この科目は平成29年度までに単位修得を終えてください。平成30年4月1日以降の学習はできません。

■科目の内容

本課程において、「公認指導者資格 レクリエーション・インストラクター」(公益財団法人日本レクリエーション協会)を取得する者は、地域において実施されているレクリエーション支援に関わる事業に3回以上参加することが必須となります。

レクリエーション事業は、いわゆる理論的、実技的学習の総合的演習を体系化したものです。具体的にはさまざまなワークが顕在し、対象を想定した支援「コミュニケーション・ワーク」としてのホスピタリティトレーニングやアイスブレイキングの提供や事業の展開方法、アセスメントに基づいたプログラム計画、安全管理といったものがその主を成します。本講では、課程認定の指定を受けたレクリエーションに関係する各種の事業に実際に参画し、「事業にかかわるスタッフの様子」、「支援者の役割」、「事業のプロセスの理解」、「事業の企画運営や実施方法」等を事業に参加して学ぶ「事業参加」の形態と、実際に運営スタッフとして事業に参加する「スタッフ参加」の二つの形態があります。

インストラクターの役割を理解し総合的に実践力を身につけるためには、「事業参加」・「スタッフ参加」の両方に参加することが望ましいと思います。

■「事業参加」開始条件

「レクリエーション実技」のスクーリングを受講・合格済みであること。(単位修得ではありません)
詳細については、レクリエーション実技のスクーリングの際にご説明いたします。

■到達目標

- 1) 都道府県および市区町村のレク協会が、地域でどのような活動を行っているかを説明することができる。
- 2) 都道府県および市区町村のレク協会が実施する行事・イベント等で、スタッフがどのような働きをしているかを区分することができる。
- 3) 行事・イベントの参加を通して公認指導者がどのような活動を行っているかを説明することができる。
- 4) 行事・イベントの企画や実施方法を応用することができる。

■教科書(「レクリエーション概論」「レクリエーション実技」と共通のため、この科目での教科書配本はありません)

財団法人日本レクリエーション協会編『レクリエーション支援の基礎』

■レポート課題（レクリエーション事業参加後の課題）

1 単位め レクリエーション事業の考え方について述べて。

■アドバイス

事業参加とは、講義で学習したことを基本に、レクリエーション関係の団体が開催するイベントに参加し、運営やプログラムを参加者の視点で実践的に学習することです。

本講では、概論では見えにくい「実践における実技的」学習の習得にねらいを置いています。したがって、コミュニケーション・ワークとしてのホスピタリティトレーニングやアイスブレイキング等の専門的技法が、さまざまな局面や対象者の年齢層、雰囲気等によって、形態を変えながら展開されてきます。実際のレクリエーション支援の場面に自らを置くことで、主体である対象者や支援者の立場に立つことにより、レクリエーション支援そのものの本質について考察を深めてください。

各都道府県レクリエーション協会ホームページ掲載のレクリエーション協会主催イベントの中から選択できます。

○事業参加……地域におけるレクリエーション事業への参加（参加者として参加する）

事業参加では参加費用がかかる場合があります。

○スタッフ参加…レクリエーション事業への運営スタッフ（主催者のメンバーの一員）として事業へ関わる

「スタッフ参加」はイベント当日を含めて3回以上参加することを原則とします。

■履修登録条件

この科目は、「レクリエーション実技」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。